

振興会だより

地区要望意見交換会

☆賑わいのあるまちづくり ☆災害に強いまちづくり

令和6年度地区要望意見交換会が、7月30日(火)に本庁講堂において実施されました。羽田地区振興会から、橋本欣也振興会長、小野寺茂美副会長、細川元副会長、佐藤庄治郎地区センター長が出席しました。

この意見交換会は、地域と行政が地域課題を共有し、地域が主体的に地域運営に関わること、行政が関与すべきものについて、適切に市政に反映させることを目的として実施されているものです。

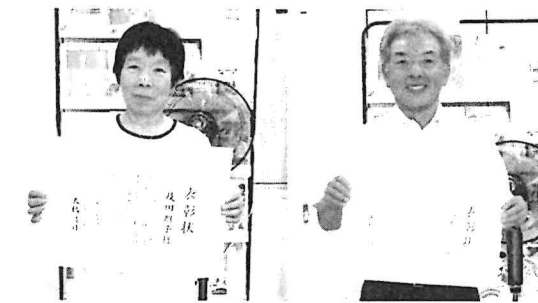
羽田地区からは、「振興会だより」6月号で紹介した10項目に関し、意見交換し要望して参りました。結果は、9月号で、各家庭にお知らせすることになります。

令和6年8月22日発行
編集・発行 振興会
羽田地区センター

要望として提出した10項目をそれぞれ1項目ごとに、振興会から説明し、行政の担当課3名が応えていくという形式で、意見交換が実施されました。

要望のうち、県、国に係わるものは、市から回付する可否が示され、市が対応可能な項目について、突っ込んだ意見交換がりましたが、実現を見る項目は相当限られそうです。

岩手県社会教育連絡協議会 社会教育功労職員表彰



7月19日(金)、花巻市文化会館で開催された岩手県公民館大会の席上において、今野俊宏前地区センター長が、平成28〜令和5年度の8年にわたる永年の功績に対して、社会教育功労職員表彰を受けました。

また、及川朋子地域活動員が、特別社会教育功労職員表彰を受けました。実に、平成16年〜令和5年度の20年にわたる永年の功績に対しての特別表彰となっております。

ご両名におかれましては、今回の受賞、誠におめでとございます。

区長会の方々が

久保公園周辺の 生垣を剪定

8月1日(木)早朝の5時半から、地区センター向かいの久保公園を、区長会皆さんに整備していただきました。

公園敷地を囲む生垣の剪定を2時間ほどの時間をかけて行っていました。



ただきました。

市では、年3回、公園内の草刈りを、シルバー人材センターに委託して行っています。しかし、その他には、予算的に手をかけることができない状況といえます。

そんな状況下にあつて、区長会が「市ができないところは、地元でやろう」という善意のもと行ったものです。市で掲げる「協働のまちづくり」理念に沿った事業といえます。

なお、地区センターから、センター長と事務長の2名、参加させていただきました。

化石の看板の建て替え

北鶴ノ木自治会から申請の出ている「化石」の看板の建て替えを、協働のまちづくり交付金事業として取り組みました。事業名は、「歴史・伝統文化継承」です。

木枠を金属枠とし、「化石」の地名の由来を後世に継承します。



台風5号東北横断により

Zアリーナに30名弱避難

8月11日(日)、台風5号接近により、市は、午後、警戒レベル3「高齢者等避難」を発令。午後5時、市内30カ所に避難所を開設した。羽田地区では、Zアリーナ(市総合体育館)に避難所が開設された。

直ちに、防災本部長(振興会長)より、各自自治会に連絡した。さらに、対策会議を19時に開催する旨も連絡。Zアリーナには、5時過ぎから30名弱の町民が避難した。

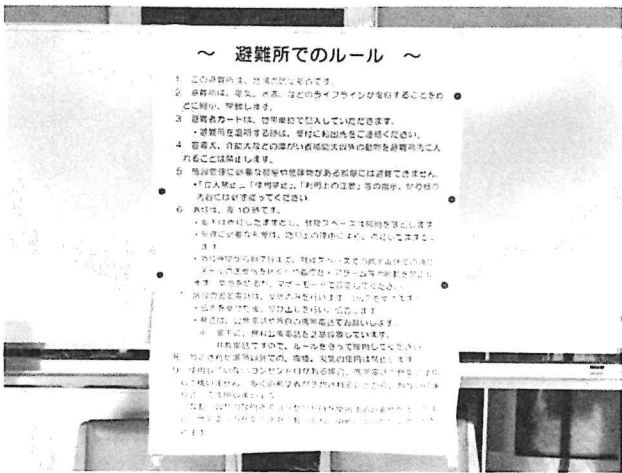
19時の対策会議では、警戒レベル4「避難指示」が発令されたら、直ちに対策会議を開催、警戒レベル3のまま推移の場合は、明朝8時に対策会議開催を確認。その後、1時間ほどかけて、組立ベツト設営等の手伝いをしていただいた。

22時に消灯。宿泊者23名。明けて12日(月)、台風は時速約10キロと遅く、奥州市付近に最接近するのは正午過ぎと推定されることから、8時の対策会議では、今後の対応を協議するため、13時に対策会議開催を確認。

その後、台風は花巻市付近を通過。

13時の対策会議では、市が、13日(火)8時に、「高齢者等避難」を解除し、避難所閉鎖の意向であることを確認したうえで、対策会議は、これが最後であることと、今後、各自自治会で、万全の対応に当たることを確認した。

12日(月)の宿泊者は3名。13日(火)8時に、市は「高齢者等避難」を解除し、避難所を閉鎖した。自治会長さん方におかれまして



奥州市総合防災訓練は各自自治会の意向による

8月7日(水)に開催された自治協議会で、奥州市総合防災訓練の対応について協議しました。

奥州市総合防災訓練は、9月1日(日)に実施されますが、当日は、羽田地区では、水路清掃、側溝清掃等がある自治会が多いことから、羽田地区全体としては、総合防災訓練に

は、3回に及ぶ対策会議のために、Zアリーナに足を運ばれましたこと、さらに、自治会の対応に当たられたことに感謝申し上げます。

何はともあれ、羽田地区では、人的な被害等は皆無であったことに、胸をなでおろしています。

なお、地区センターからは、防災無線と発電機2台をZアリーナに持ち込み、発電機2台は、12日(月)午後、Zアリーナ付近の一時停電の際、灯光器に送電するという機会に威力を発揮しました。

まちづくり交付金

令和6年度の「協働のまちづくり交付金」に係る事業計画のうち、承認を受けたものをお知らせします。

(一)内は事業名です。

- ①化石の看板の建て替え(歴史・伝統文化継承) (表面左下参照)
- ②「北上夜曲」発祥の地の案内標柱の設置(歴史・伝統文化継承)
- ③羽黒山山頂付近に建てられたのろし台の撤去(環境整備・安全確保)
- ④刈払機の替え刃更新(環境整備・安全確保)
- ⑤鶴ノ木行政区の集会施設の設備整備(住みよいまちづくり)
- ⑥商工観光部会の視察研修(住みよいまちづくり)

参加しないことを確認しました。従って、総合防災訓練の対応は、各自自治会の意向によることを確認しました。

この協議では、4年に1度実施される羽田地区自主防災訓練の重要性が再確認されました。次回の自主防災訓練は、令和9年度となります。

羽田地区は、北上川、人首川、伊手川沿いにあることから、洪水、水害の危険性と隣り合わせにあることを、常に意識してほしいと考えます。